

ASEAN・インド月報

(2016年1月)

【目次】

■ASEAN・インドのマクロ経済動向	
インドネシア	1
マレーシア	2
フィリピン	3
シンガポール	4
タイ	5
ベトナム	6
インド	7
■アジア主要国・地域の主要経済指標（国・地域別）	8
■アジア主要国・地域の主要経済指標比較	13

経済調査室

1. インドネシア

消費者物価上昇率が6年ぶりの低水準に止まるなかで高まる利下げ期待

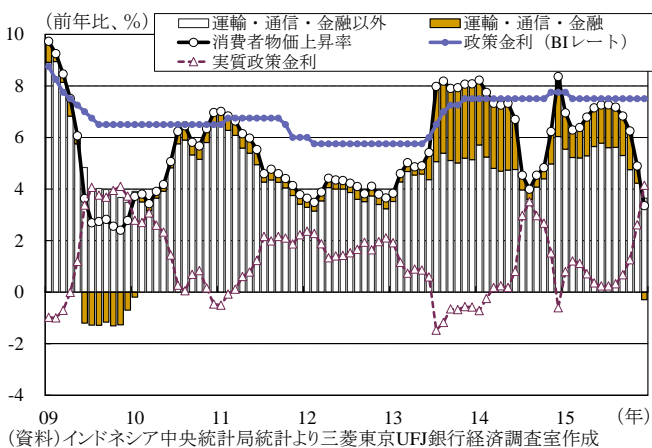
12月の消費者物価上昇率は前年比+3.4%と11月の同+4.9%から一段と低下し、2009年12月以来、6年ぶりの低さとなった。2014年11月の燃料補助金削減に伴う燃料価格上昇の影響が剥落したことがインフレ率低下の主因。加えて、資源安や農産物価格の落ち着きを背景に、加工食品や光熱費・燃料価格の伸び幅が縮小したことも影響した。消費者物価上昇率は2ヵ月連続でインドネシア中銀の2015年のインフレ目標である4±1%に収まったが、資源安継続や景気低迷を受けた需給ギャップの緩和から2016年も中銀のインフレ目標（2016年も4±1%）のレンジ内で推移する公算が大きい。

インフレ率の低下に伴い実質金利（政策金利－消費者物価上昇率）は2009年以来的水準まで上昇しており、景気挺入れに向けて中銀に利下げを求める声が強まっている。中銀は11月の会合で預金準備率引き下げを通じて金融緩和姿勢に転じたが、米国の利上げの影響を見極めたいとし、政策金利であるBIレートは翌12月の会合でも据え置いた。もっとも、事前に十分に予想されていたこともあり、米国が利上げを実施した昨年12月18日以降の為替相場や株価に大きな混乱は確認されておらず、近いうちに中銀が利下げに踏み切る可能性が高まっている。

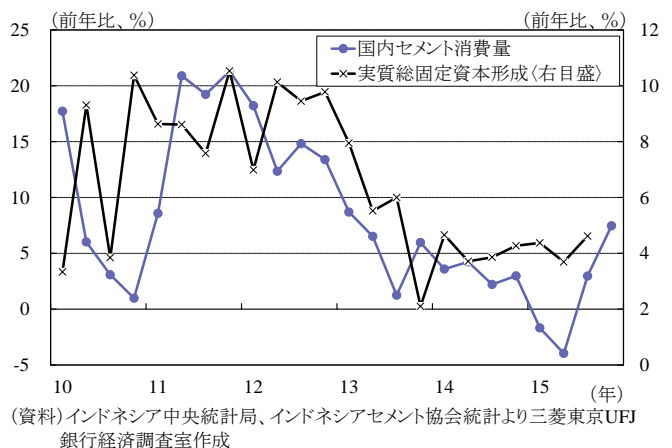
公共投資の顕在化に伴い、セメント消費の増加基調が徐々に強まる

インドネシアセメント協会が公表した11月の国内セメント消費量は前年比+4.7%と、4ヵ月連続で前年の水準を上回った。10-11月では同+7.5%と7-9月期の同+3.0%から加速し、四半期ベースでは2013年1-3月期以来、約3年ぶりの高い伸びとなっている。遅延していた公共投資が徐々に顕在化していることが背景にあるとみられ、10-12月期のGDP上の実質総固定資本形成は更に伸びを高めた可能性が高い。もっとも10月末に成立した2016年度予算でもインフラ投資に多額の歳出が割かれた一方で、足元の税収は景気減速を背景に伸び悩みが目立つ。歳入下振れによって公共投資が予算通り執行されず、期待したほど景気の押し上げに結び付かないリスクには注意しておきたい。

第1図：消費者物価上昇率と政策金利



第2図：国内セメント消費と実質総固定資本形成



(経済調査室 シンガポール駐在)

2. マレーシア

10月の鉱工業生産指数は前年比+4.2%へ小幅鈍化

10月の鉱工業生産指数は、前年比+4.2%と9月の同+5.1%から鈍化した。鉱工業生産指数の3分の2を占める製造業が同+6.2%と、9月の同+3.2%から伸びを高めたものの、鉱業が天然ガスの減産によって同▲1.4%と9月の同+4.3%から再び前年割れに転じた。製造業の内訳をみると、主力の電機・電子が同+13.9%と一段と伸びが加速、石油・化学・ゴム・プラスチック製品も同+3.3%と底堅い拡大を続けた。加えて、非金属鉱物・基礎金属も同+5.1%と堅調だったほか、食品・飲料・タバコは同+2.4%とプラスを回復した。

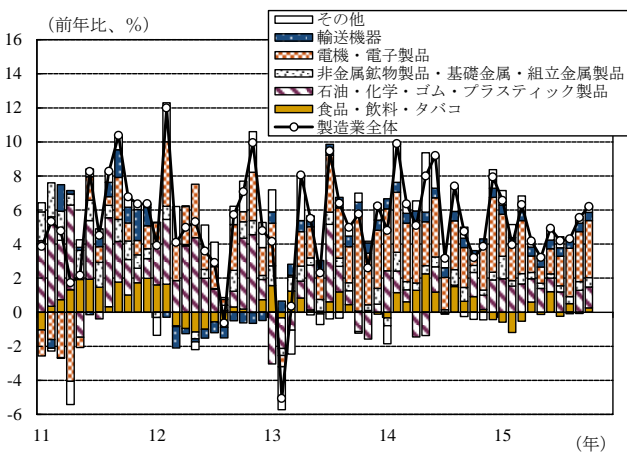
今後も通貨安による輸出競争力の向上が電機・電子など外需関連業種の追い風になるとみられるものの、国営石油会社ペトロナスが収益確保のため事業運営費の見直し等のリストラを検討しているとの報道もあるように、価格低下や需要減に直面する資源部門では引き続き厳しい状況を余儀なくされよう。

11月の自動車販売台数の伸びは、前年比+1.4%へ鈍化

11月の自動車販売台数は前年比+1.4%と、10月の同+2.9%から鈍化した。自動車販売台数は、今年4月の物品・サービス税（GST）の導入前の駆け込み消費の反動により4月から7月にかけて前年割れとなった後、8月以降は4ヵ月連続のプラスを回復していた。

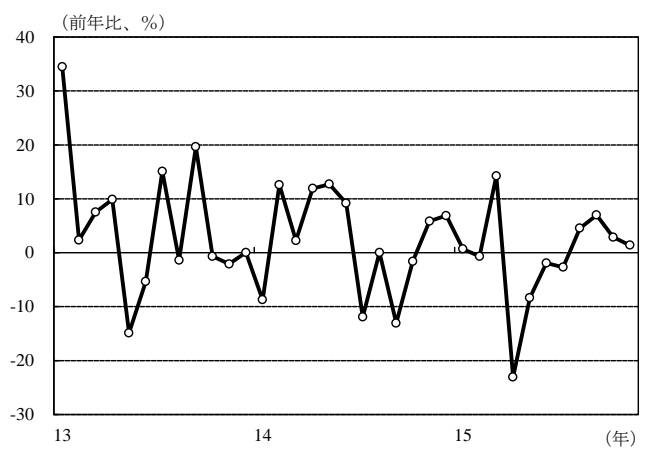
今後も反動減の剥落や安定した所得・雇用環境を背景に自動車販売台数は増加基調を保つことが見込まれる。もっとも、GST導入に伴う物価上昇が家計の実質購買力を押し下げていることには変わりがないほか、通貨安による部品等の輸入コストの上昇を小売価格に転嫁する動きが見られること、さらには家計債務残高の高止まりなどが重石となり、自動車販売の回復ペースは緩やかなものに止まると予想される。

第1図：製造業生産



(資料) マレーシア統計局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第2図：自動車販売台数



(資料) マレーシア統計局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(経済調査室 シンガポール駐在)

3. フィリピン

10月の海外労働者送金額は前年比+0.2%と小幅の伸び

10月の海外労働者送金額は、22億32百万ドルと過去最高額となったものの、前年比では+0.2%と、9月（同+4.3%）から鈍化し小幅な伸びとなった。国別にみると、全体の4割超を占める北米からの送金が減少し全体の重石となった。一方、北米に次ぐ規模の中東（2割）やアジア（1割）からの送金は前月に続き二桁の伸びとなり、全体を牽引している。また、送金額を自国通貨建てに換算してみると、通貨下落の影響から同+4.7%とドル建てに比べ伸びが高まり、引き続きGDPの7割を占める民間消費の支えとなることが期待される。

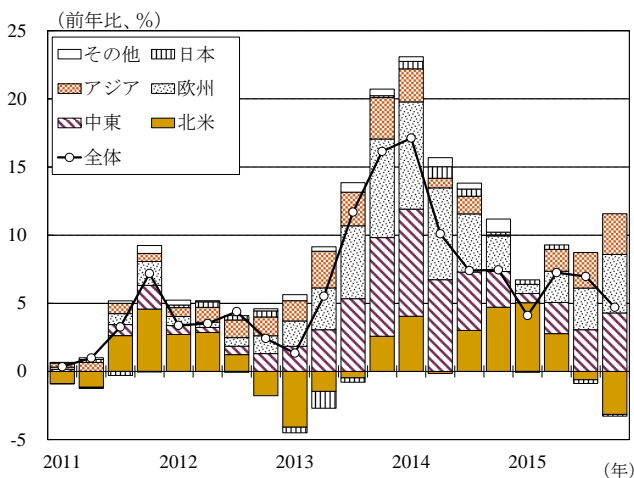
フィリピン中央銀行は昨年12月、今後の送金額の見通しについて、中東などの地域において対ドルで通貨安が進むことや、各国銀行の送金に対するマネーロンダリング防止の観点からの監視強化を背景に、2015年は従来の同+5%から同+4%に引き下げたほか、2016年についても同程度の伸びを予測している。

10月の貿易収支は▲19億ドルの赤字

10月の輸出（ドルベース）は、前年比▲10.8%と、9月（同▲15.5%）からマイナス幅は縮小したものの、7ヵ月連続のマイナスとなった。品目別にみると、全体の4割を占める電子製品は同+3.1%と増加した一方、価格下落の影響が大きいとみられる石油製品や化学をはじめ、農作物や鉱産物などの一次産品が同▲39.1%と大きく減少し、全体を押し下げた。

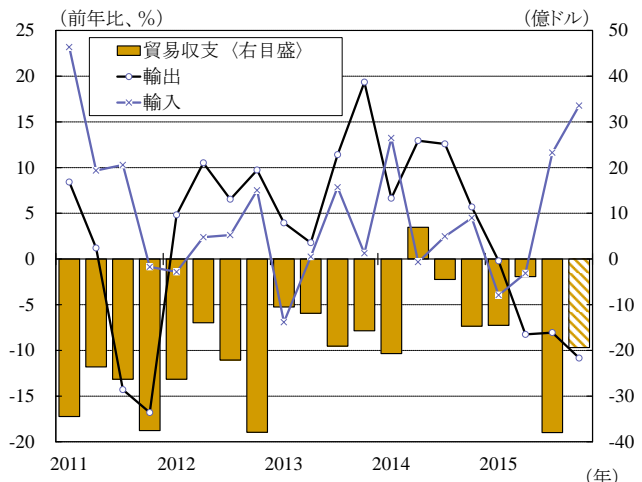
他方、輸入は製造部門の好調や、消費など内需の底堅さを反映し、同+16.8%と5ヵ月連続で増加した。結果、貿易収支は▲19億ドルと5ヵ月連続で赤字となった。

第1図：海外労働者送金額



(注) ペソ換算。直近は2015年10月まで。
 (資料) フィリピン中央銀行統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第2図：輸出（ドルベース）



(注) 直近は2015年10月まで。
 (資料) フィリピン国家統計局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(経済調査室)

4. シンガポール

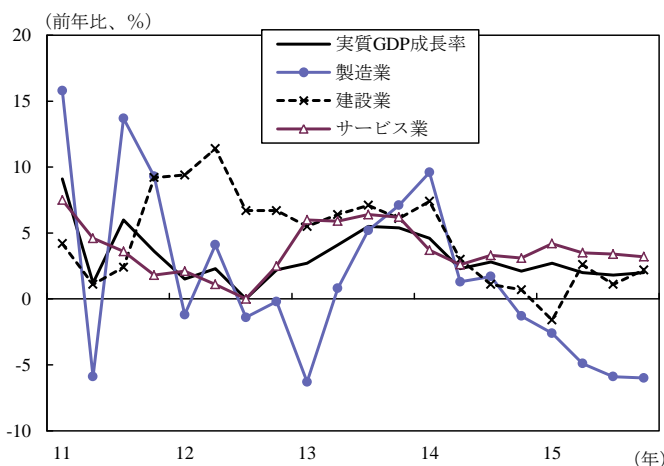
10-12月期の実質 GDP 成長率は前年比+2.0%と前期から小幅回復

10-12月期の実質 GDP 成長率（速報値）は前年比+2.0%と7-9月期の同+1.8%からやや持ち直した。前期比年率でも+5.7%と7-9月期の同+1.7%から大きく加速。産業別には、製造業が輸送エンジニアリングやエレクトロニクスなどの低迷を背景に同▲6.0%（7-9月期：同▲5.9%）と4四半期連続のマイナス成長となり、全体を押し下げた。一方、サービス業は同+3.2%と、7-9月期の同+3.4%から若干鈍化したが、相対的には高めの伸びを示し、全体を支えた。また、貿易関連セクターや金融・保険業が好調だった。建設業も、公共事業の拡大を背景に同+2.2%と7-9月期の同+1.1%から上向いた。2015年通年では前年比+2.1%と、2014年の同+2.9%から低下し、グローバル金融危機以降で最も低い成長率となった。2016年にかけて景気はごく緩やかながら回復に向かう見込みだ。外国人雇用規制や賃金上昇圧力などの国内の構造的な課題は依然として残るものの、米国を中心とする先進国経済の回復持続とASEANを中心とするアジア経済の相対的な底堅さの継続が、景気回復の後押しとなるとみられる。

政府はシンガポールの経済戦略策定のために未来経済委員会を新設

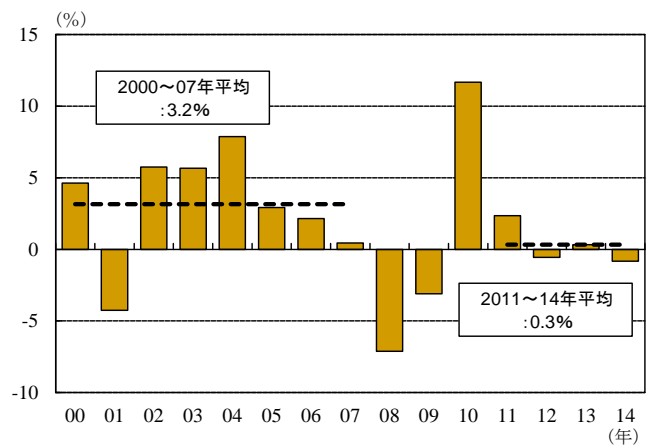
12月21日、政府は今後の経済戦略を策定する未来経済委員会を発足させた。同委員会での重点討議分野は、新規成長分野、企業革新、雇用、都市インフラ、コネクティビティの5つとされ、2016年末までに提言をまとめる。会長にはヘン財務大臣、副会長にはイスラワン貿易産業相が就任。ヘン委員長は、企業部門の果たす役割の重要性を強調したほか、潜在的な起業家の視点も採用していくことが重要だと述べ、そのための政策的な後押しを行っていくとした。全国労働組合会議（NTUC）のチャン書記長も委員に名を連ねており、これまでの経済戦略委員会から引き継いだ重要課題として、労働生産性の向上策に重点的に取り組む模様だ。

第1図：実質 GDP 成長率



(資料) シンガポール貿易産業省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第2図：労働生産性



(資料) シンガポール統計局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(経済調査室 シンガポール駐在)

5. タイ

11月の外国人来訪者数は前年比+5.1%へ加速

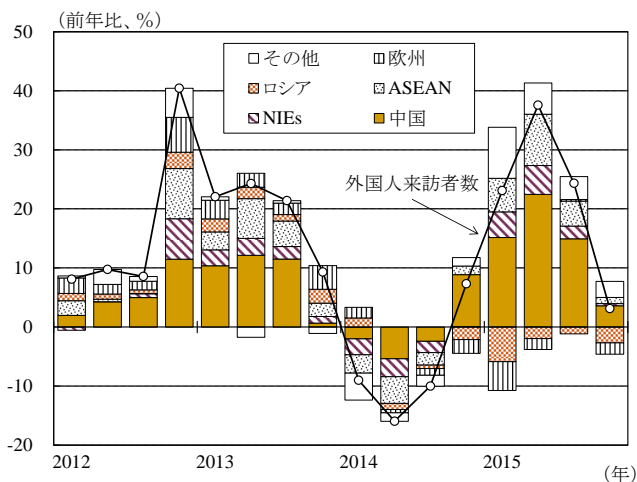
11月の外国人来訪者数は前年比+5.1%と、10月の同+1.0%から加速した。国別にみると、全体の2割を占める中国からの来訪者が同+20.0%と高い伸びを維持しているほか、NIEsやASEANといったアジア域内からの来訪者が全体を支えている。他方、欧州からの来訪者は同▲9.2%と3ヵ月連続で減少しているほか、景気低迷が続くロシアからの来訪者は年初来で同▲46.8%と略半数まで減少している。

外国人来訪者数は、2014年末から2015年8月にかけて二桁の伸びを示してきたが、8月以降は伸び悩みの動きがみられる。背景には、昨年のテロの影響も一部寄与したと考えられるが、むしろ2014年の政情不安に伴う来訪者数減少の反動効果が剥落してきた面が大きいとみられる。実際、来訪者数は14ヵ月連続で前年比プラスを維持しており、観光収入と合わせて通年では政府の目標を上回る見込みだ。今後も景気の下支えとなることが期待される。

11月のパーツ建て輸出は前年比+1.2%と5ヵ月連続のプラス

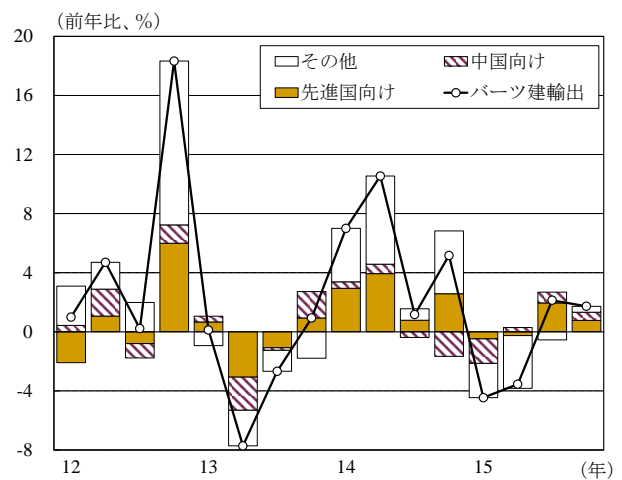
11月のパーツ建て輸出（通関ベース）は前年比+1.2%と5ヵ月連続のプラスとなった。仕向け地別にみると、アジア域内こそまちなものの、米国（同+2.4%）や日本（同+4.1%）、欧州（EU28ヵ国：同+1.8%）といった先進国向けが全体を下支えしている。品目別にみると、自動車（同+18.7%）や電気部品（同+7.1%）が好調を維持した一方、価格下落を背景に石油製品（同▲22.6%）や化学（同▲7.7%）は全体の重石となっている。今後、外需が伸び悩むなか、同国経済のエンジンである輸出が、為替下落なども支えに、先進国向けを中心に持ち直し、生産の底入れを通じた投資や所得の改善といった内需へ波及していくか注目される。

第1図：外国人来訪者数



(注) 直近は11月まで。
(資料) タイ観光庁統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第2図：パーツ建輸出



(注) 通関ベース。先進国向けは、NIEs4ヵ国・地域を含まず。直近は11月まで。
(資料) タイ中央銀行統計より経営企画部経済調査室作成

(経済調査室)

6. ベトナム

2015年の実質GDP成長率は前年比+6.7%へ加速

2015年の実質GDP成長率は、前年比+6.7%と2014年（同+6.0%）から加速し、政府の目標（同+6.2%）を上回った。産業別にみると、工業・建設業とサービス業が全体を牽引した形となった。個別にみると、農林水産業は、林業こそ同+7.7%と高めの伸びを維持したものの、農業（同+2.0%）や漁業（同+2.8%）が相対的に低めの伸びとなったことを受け、同+2.4%と2014年から減速した。一方、工業・建設業は、好調な輸出などを背景に製造業（同+10.6%）が大きく伸びたほか、建設業も同+10.8%と二桁の伸びとなった。サービス業は、賃金の伸びや低インフレ率も追い風に、全体の1割を占める小売業（同+9.1%）が牽引したほか、金融業も同+7.4%となった。

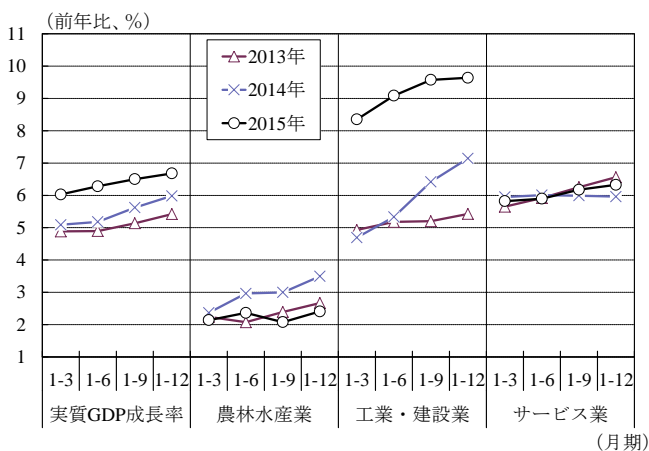
政府は2016年の予測を同+6.7~6.8%としている。

12月の輸出は前年比+10.3%と半年ぶりに二桁の伸び

12月の輸出は前年比+10.3%と6月（同+15.7%）来の高い伸びとなった。品目別にみると、全体の3割を占める電話・電話部品と電子製品が同+50.4%と大幅に伸びたほか、食品と農林水産物（全体の2割）も同+13.6%と高めの伸びとなった。一方、価格下落の影響が多いとみられる資源輸出（同▲26.2%）は低迷が続いた。資本別にみると、外国資本企業輸出は同+17.7%、国内企業輸出は同▲4.6%と二極化しており、外資企業の製造品輸出が全体を押し上げているとみられる。

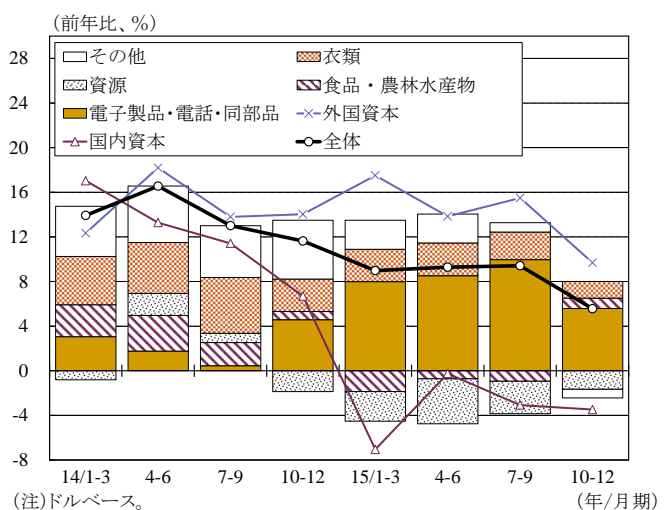
輸入は同+3.3%と11月（同+6.6%）から伸びが鈍化した。結果、12月の貿易収支は▲3億ドルの赤字となった。2015年通年の貿易収支は▲32億ドルと、4年ぶりに赤字となった。政府は2016年について、貿易赤字が▲40億ドルに拡大するとの見通しを示している。背景としては、FTA発効による繊維や履物・農林水産物の輸出が拡大する一方、好調な内需などを反映した輸入の拡大が考えられる。

第1図：実質GDP成長率



(注) 1月からの累積ベース。
(資料) ベトナム統計総局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

第2図：品目・資本別にみた輸出



(注) ドルベース。
(資料) ベトナム統計総局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(経済調査室)

7. インド

7-9月期の経常収支は、名目GDP比▲1.6%へ赤字幅が拡大

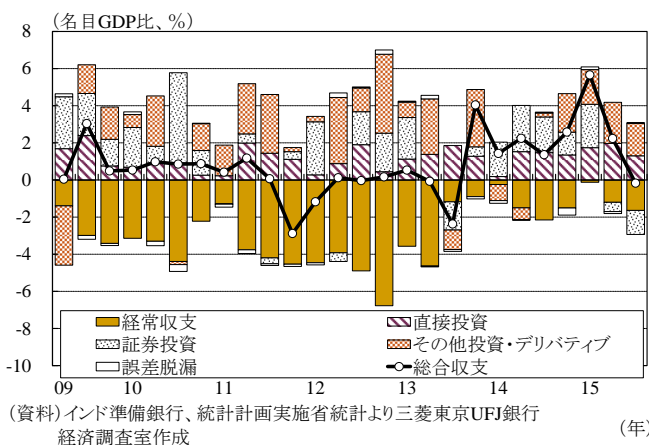
7-9月期の経常収支は▲82.1億ドル、名目GDP比▲1.6%と、4-6月期の▲61.3億ドル、同▲1.2%から赤字幅が拡大した。貿易収支が4-6月期の同▲6.7%から同▲7.4%に拡大したことが主因だが、これは10月から始まる祝祭ディワリにおける消費拡大を控えた金等の輸入拡大によるところが大きい。実際、昨年7-9月期の経常収支、同▲2.2%と比べれば赤字が縮小している。他方、金融収支サイドでは直接投資の純流入額が前期から幾分縮小したほか、2014年央以降の新興国市場の不安定化の中で証券投資も株式を中心に2四半期連続の資金流出となった。この結果、外貨準備は前期から僅かに減少したものの、直近11月時点で3,367億ドル（IMF公表値、除く金）、輸入の10.9ヵ月分と十分なレベルを保っている。

経常赤字が一時的に拡大しつつも季節要因によるところが大きい点、十分な外貨準備を保有している点、相対的に良好な経済パフォーマンスを背景に直接投資を中心にインドへの資金流入は底堅く推移するであろう点を踏まえれば、米国の金融政策の正常化の過程でグローバルに新興国市場の不安定さが残る中でも、インドの対外バランスに大きな懸念はないと考えられる。

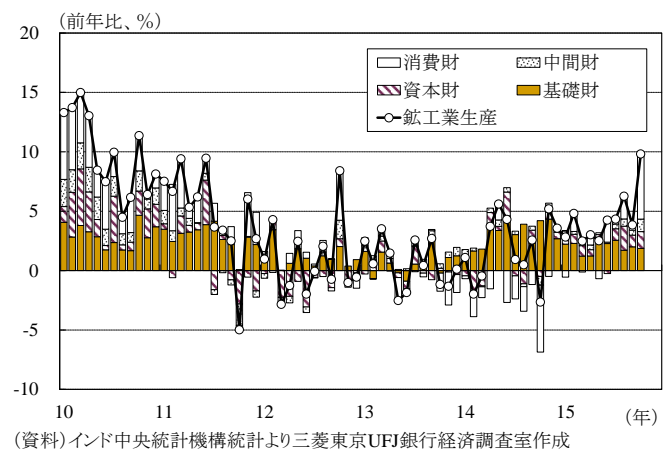
10月の鉱工業生産は前年比+9.8%と5年ぶりの高い伸び

10月の鉱工業生産は前年比+9.8%と、9月の同+3.8%から大きく加速し、2010年10月以来、5年ぶりとなる高い伸びを示した。財別に見ると、基礎財は伸びが小幅低下したものの、資本財が同+16.1%、中間財が同+6.7%、消費財が同+18.4%へとそれぞれ加速した。一方、直近12月の製造業購買担当者景況指数（PMI）は49.1と約2年ぶりに企業活動の拡大・縮小の境目である50を下回った。チェンナイを州都とする南部タミル・ナド州で11月以降発生した洪水被害が製造業の企業活動や景況感を冷え込ませたとみられる。同要因の剥落に伴って製造業の企業活動も再び持ち直しに向かうと予想されるが、当面は従来同様にサービス業が景気回復の牽引役となりそうだ。

第1図：国際収支



第2図：鉱工業生産



(経済調査室 シンガポール駐在)

■ アジア主要国・地域の主要経済指標（国・地域別）

インドネシアの主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	913	889									
人口(100万人)	248.8	252.2	255.5								
1人あたりGDP(ドル)	3,670	3,523									
実質GDP成長率(前年比、%)	(5.6)	(5.0)		(4.7)	(4.7)	(4.7)					
鉱工業生産指数(前年比、%)	(6.2)	(4.7)		(5.1)	(5.3)	(4.3)		(0.7)	(5.2)		
国内自動車販売(台) (前年比、%)	1,229,901 (10.2)	1,208,019 (▲1.8)		282,345 (▲14.1)	243,147 (▲22.5)	239,191 (▲17.7)		93,038 (▲9.3)	88,410 (▲16.0)	86,979 (▲4.8)	
消費者物価指数*(前年比、%)	(6.4)	(6.4)	(6.4)	(6.5)	(7.1)	(7.1)	(4.8)	(6.8)	(6.2)	(4.9)	(3.4)
輸出(FOB)(100万ドル) (前年比、%)	182,552 (▲3.9)	176,165 (▲3.5)		39,052 (▲11.8)	39,300 (▲11.7)	36,781 (▲16.2)		12,588 (▲17.6)	12,122 (▲20.7)	11,163 (▲17.6)	
輸入(CIF)(100万ドル) (前年比、%)	186,629 (▲2.6)	178,179 (▲4.5)		36,731 (▲15.0)	37,218 (▲20.3)	34,040 (▲23.4)		11,559 (▲25.6)	11,109 (▲27.5)	11,510 (▲18.0)	
貿易収支(100万ドル)	▲4,077	▲2,014		2,321	2,082	2,741		1,030	1,013	▲346	
経常収支(100万ドル)	▲29,109	▲27,516		▲4,178	▲4,250	▲4,011					
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	96,364	108,836		108,571	105,084	98,876		98,876	97,836	97,584	
BI(政策)金利◎	7.50	7.75	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50
為替(ルピア/ドル)*	10,438	11,881	13,398	12,805	13,127	13,863	13,766	14,416	13,775	13,679	13,845
株価指数◎	4,274.2	5,226.9	4,593.0	5,518.7	4,910.7	4,223.9	4,593.0	4,223.9	4,455.2	4,446.5	4,593.0

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)インドネシア中央銀行、CEIC、Bloombergなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

マレーシアの主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	323	338									
人口(100万人)	29.9	30.6	31.0								
1人あたりGDP(ドル)	10,809	11,050									
実質GDP成長率(前年比、%)	(4.7)	(6.0)		(5.6)	(4.9)	(4.7)					
鉱工業生産指数(前年比、%)	(3.4)	(5.1)		(6.5)	(4.3)	(4.5)		(5.1)	(4.2)		
自動車販売台数(台) (前年比、%)	655,793 (4.5)	666,487 (1.6)		168,306 (5.2)	153,878 (▲11.2)	163,204 (2.5)		51,106 (7.0)	55,754 (2.9)	56,092 (1.4)	
消費者物価指数(前年比、%)	(2.1)	(3.1)		(0.7)	(2.2)	(3.0)		(2.6)	(2.5)	(2.6)	
輸出(FOB)(100万ドル) (前年比、%)	228,343 (0.3)	233,946 (2.5)		50,594 (▲11.2)	50,578 (▲14.8)	49,281 (▲17.0)		16,290 (▲18.7)	17,815 (▲10.4)	15,674 (▲17.5)	
輸入(CIF)(100万ドル) (前年比、%)	205,906 (4.8)	208,868 (1.4)		44,701 (▲8.7)	45,025 (▲16.2)	43,908 (▲18.8)		14,040 (▲18.2)	14,956 (▲23.5)	13,302 (▲15.3)	
貿易収支(100万ドル)	22,437	25,078		5,892	5,553	5,373		2,250	2,859	2,372	
経常収支(100万ドル)	11,205	14,473		2,754	2,072	1,247					
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	133,444	114,621		103,703	104,097	92,009		92,009	92,693	93,168	
銀行間3カ月金利(%)◎	3.32	3.86	3.84	3.73	3.69	3.74	3.84	3.74	3.74	3.77	3.84
為替(リンギ/ドル)*	3.150	3.273	3.907	3.620	3.659	4.058	4.283	4.307	4.255	4.315	4.280
株価指数◎	1,867.0	1,761.3	1,692.5	1,830.8	1,706.6	1,621.0	1,692.5	1,621.0	1,665.7	1,672.2	1,692.5

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。鉱工業生産指数の2012年以前は2005年基準、2013年以降は2010年基準。

(資料)マレーシア中銀、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

フィリピンの主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	272	285									
人口(100万人)	98.2	99.9									
1人あたりGDP(ドル)	2,769	2,851									
実質GDP成長率(前年比、%)	(7.1)	(6.1)		(5.0)	(5.8)	(6.0)					
製造業生産指数(前年比、%)	(13.9)	(7.3)		(5.1)	(▲0.2)	(1.5)		(2.3)	(▲1.8)		
国内自動車販売(台) (前年比、%)	212,682 (15.4)	270,312 (27.1)		62,882 (21.6)	68,583 (19.8)	74,819 (23.1)		27,069 (29.4)	28,667 (28.7)	26,979 (25.9)	
消費者物価指数(前年比、%)	(2.9)	(4.2)	(1.4)	(2.4)	(1.7)	(0.6)	(1.0)	(0.4)	(0.4)	(1.1)	(1.5)
輸出(FOB)(100万ドル) (前年比、%)	56,698 (8.8)	62,102 (9.5)		14,247 (▲0.2)	14,640 (▲8.3)	15,394 (▲8.1)		4,939 (▲15.5)	4,590 (▲10.8)		
輸入(CIF)(100万ドル) (前年比、%)	62,411 (0.5)	65,398 (4.8)		15,700 (▲4.0)	15,024 (▲1.6)	19,191 (11.6)		6,170 (6.7)	6,527 (16.8)		
貿易収支(100万ドル)	▲5,713	▲3,296		▲1,453	▲384	▲3,797		▲1,230	▲1,937		
経常収支(100万ドル)	11,384	10,917		1,903	2,994	658		88			
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	75,689	72,057		73,021	73,266	73,536		73,536	73,919	73,473	
TBレート金利◎	0.00	1.42	1.84	1.40	2.14	1.51	1.84	1.51	1.49	1.77	1.84
為替(ペソ/ドル)*	42.45	44.40	45.50	44.42	44.67	46.05	46.87	46.75	46.36	47.01	47.23
株価指数◎	5,889.8	7,230.6	6,952.1	7,940.5	7,564.5	6,894.0	6,952.1	6,894.0	7,134.3	6,927.1	6,952.1

(注)*:期中平均値、◎:期末値。国内自動車販売の四半期、月次はフィリピン自動車工業会(CAMPI)加盟分。暦年のみ自動車輸入・流通業者連合(AVID)を追加(一部重複あり)。

(資料)フィリピン国家統計局、中央銀行、IMF、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

シンガポールの主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	302	308									
人口(100万人)	5.4	5.5	5.5								
1人あたりGDP(ドル)	55,980	56,287									
実質GDP成長率(前年比、%)	(4.4)	(2.9)	(2.1)	(2.6)	(2.0)	(1.8)	(2.0)				
製造業生産指数(前年比、%)	(1.7)	(2.7)		(▲2.6)	(▲4.9)	(▲5.9)		(▲4.3)	(▲4.7)	(▲5.5)	
実質小売売上高指数(前年比、%)	(▲4.4)	(0.3)		(3.6)	(6.4)	(5.5)		(3.7)	(2.7)		
消費者物価指数(前年比、%)	(2.4)	(1.0)		(▲0.3)	(▲0.4)	(▲0.6)		(▲0.6)	(▲0.8)	(▲0.8)	
輸出(FOB)(100万Sドル)	509,191	513,248		119,092	120,221	119,039		39,936	42,437	37,864	
(前年比、%)	(0.0)	(0.8)		(▲6.0)	(▲9.0)	(▲8.0)		(▲8.7)	(▲3.2)	(▲5.9)	
輸入(CIF)(100万Sドル)	466,755	463,779		98,857	104,529	103,938		34,467	34,987	32,369	
(前年比、%)	(▲1.6)	(▲0.6)		(▲16.1)	(▲13.0)	(▲9.1)		(▲11.0)	(▲12.7)	(▲5.5)	
貿易収支(100万Sドル)	42,437	49,469		20,234	15,691	15,101		5,469	7,450	5,495	
経常収支(100万Sドル)	67,675	74,467		27,484	23,176	23,176					
外貨準備高(除く金)(100万\$)	272,864	256,643		248,201	253,071	251,425		251,425	249,564		
SIBOR3カ月(Sドル、%)◎	0.40	0.46	1.19	1.01	0.82	1.14	1.19	1.14	1.07	1.07	1.19
為替(Sドル/USドル)*	1.251	1.267	1.375	1.357	1.343	1.392	1.408	1.415	1.401	1.414	1.408
株価指数◎	3,167.4	3,365.2	2,882.7	3,447.0	3,317.3	2,790.9	2,882.7	2,790.9	2,998.4	2,855.9	2,882.7

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)シンガポール統計局、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

タイの主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	420	405									
人口(100万人)	64.8	65.1	65.7								
1人あたりGDP(ドル)	6,485	6,216									
実質GDP成長率(前年比、%)	(2.8)	(0.9)		(3.0)	(2.8)	(2.9)					
製造業生産指数(前年比、%)	(2.4)	(▲5.2)		(0.4)	(▲0.3)	(0.9)		(▲0.3)	(▲0.8)	(0.1)	
民間消費指数(前年比、%)	(1.8)	(0.7)		(2.3)	(▲0.7)	(0.7)		(2.4)	(2.5)	(3.5)	
自動車販売台数(台)	1,330,678	881,832		197,787	171,322	184,723		61,869	67,910	76,426	
(前年比、%)	(▲7.3)	(▲33.7)		(▲11.8)	(▲21.0)	(▲11.0)		(▲10.5)	(▲4.1)	(4.6)	
消費者物価指数(前年比、%)	(2.2)	(1.9)	(▲0.9)	(▲0.5)	(▲1.1)	(▲1.1)	(▲0.9)	(▲1.1)	(▲0.8)	(▲1.0)	(▲0.9)
失業率(%)*	0.7	0.8		1.0	0.9	0.9		0.8	0.9	0.9	
輸出(FOB)(100万ドル)	225,409	224,777		52,983	52,650	54,224		18,524	18,288	17,006	
(前年比、%)	(▲0.1)	(▲0.3)		(▲4.3)	(▲5.5)	(▲4.7)		(▲5.4)	(▲8.0)	(▲6.6)	
輸入(FOB)(100万ドル)	218,748	200,194		45,503	44,790	44,607		14,523	13,957	14,920	
(前年比、%)	(▲0.1)	(▲8.5)		(▲7.3)	(▲10.2)	(▲14.5)		(▲21.3)	(▲21.3)	(▲8.5)	
貿易収支(100万ドル)	6,661	24,583		7,480	7,860	9,616		4,001	4,331	2,086	
経常収支(100万ドル)	▲5,169	15,418		8,440	6,119	7,225		1,843	5,178	2,997	
資本収支(100万ドル)	▲2,207	▲16,389		▲2,015	▲1,787	▲7,212		▲329	▲1,510		
対外債務残高(100万ドル)◎	141,933	140,135		137,016	136,485	133,745		134,728	133,481		
外貨準備高(除く金)(100万\$)◎	161,328	151,253		150,467	154,476	150,020		150,020	152,645	150,418	
翌日物レボ金利(%)◎	2.25	2.00	1.50	1.75	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
為替(バーツ/ドル)*	30.72	32.48	34.26	32.65	33.25	35.25	35.83	36.03	35.69	35.79	36.01
株価指数◎	1,298.7	1,497.7	1,288.0	1,505.9	1,504.6	1,349.0	1,288.0	1,349.0	1,394.9	1,359.7	1,288.0

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)タイ中央銀行、国家経済社会開発委員会、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

ベトナムの主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	171	186	193								
人口(100万人)	89.8	90.7									
1人あたりGDP(ドル)	1,908	2,052									
実質GDP成長率(前年比、%)	(5.4)	(6.0)	(6.7)	(6.1)	(6.5)	(6.8)	(7.0)				
鉱工業生産(前年比、%)	(5.9)	(7.6)	(9.8)	(9.3)	(10.2)	(10.4)	(8.9)	(10.9)	(8.8)	(8.9)	(9.0)
国内自動車販売(台)	96,692	135,774		40,834	50,872	52,963		19,256	19,192	20,921	
(前年比、%)	(19.9)	(40.4)		(68.9)	(54.0)	(50.8)		(48.7)	(44.0)	(52.8)	
消費者物価指数(前年比、%)	(6.6)	(4.1)	(0.6)	(0.7)	(1.0)	(0.5)	(0.3)	(▲0.0)	(0.0)	(0.3)	(0.6)
輸出(FOB)(100万ドル)	132,033	150,217	162,518	36,263	41,373	42,475	42,408	13,814	14,314	13,894	14,200
(前年比、%)	(15.3)	(13.8)	(8.2)	(9.0)	(9.3)	(9.4)	(5.6)	(9.3)	(1.7)	(5.0)	(10.3)
輸入(CIF)(100万ドル)	132,033	147,849	166,366	38,982	42,603	42,836	41,945	14,034	13,814	13,631	14,500
(前年比、%)	(16.0)	(12.0)	(12.5)	(19.7)	(13.7)	(11.6)	(2.6)	(6.2)	(▲1.8)	(6.6)	(3.3)
貿易収支(100万ドル)	0	2,368		▲2,719	▲1,230	▲361	463	▲221	500	263	▲300
経常収支(100万ドル)	7,745	9,508		▲1,022	1,267						
外貨準備高(除く金)(100万ドル)◎	25,894	34,189		36,911	37,334	30,652		30,652			
リファイナンスレートの◎	7.00	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50
政策金利◎	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
為替(ドン/ドル)*	21,030	21,199	21,923	21,383	21,713	22,150	22,429	22,483	22,351	22,429	22,503
株価指数◎	504.63	545.63	579.03	551.13	593.05	562.64	579.03	562.64	607.37	573.20	579.03

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。

(資料)ベトナム統計総局、中央銀行、IMF、CEIC等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

インドの主要経済指標

	12年度	13年度	14年度	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	1,703	1,733	1,914								
人口(100万人)	1,235	1,251	1,267								
1人あたりGDP(ドル)	1,379	1,386	1,511								
実質GDP成長率(前年比、%)	(5.1)	(6.9)	(7.3)	(7.5)	(7.0)	(7.4)					
鉱工業生産指数(前年比、%)	(1.1)	(▲0.1)	(2.8)	(3.4)	(3.3)	(4.8)		(3.8)	(9.8)		
乗用車販売台数(台)	2,665,015	2,507,202	2,600,831	706,179	653,262	677,011		232,167	268,629	236,664	
(前年比、%)	(1.4)	(▲5.9)	(3.7)	(4.0)	(6.2)	(6.3)		(3.8)	(21.5)	(11.4)	
卸売物価指数(前年比、%)	(7.4)	(6.0)	(2.0)	(▲1.8)	(▲2.3)	(▲4.6)		(▲4.6)	(▲3.8)	(▲2.0)	
消費者物価指数(前年比、%)	(9.9)	(9.4)	(6.0)	(5.3)	(5.1)	(3.9)		(4.4)	(5.0)	(5.4)	
輸出(100万ドル)	300,401	314,416	309,881	69,979	66,908	66,452		21,801	21,408	20,014	
(前年比、%)	(▲1.8)	(4.7)	(▲1.4)	(▲15.3)	(▲16.3)	(▲18.4)		(▲24.5)	(▲17.3)	(▲24.4)	
輸入(100万ドル)	490,737	450,214	447,181	95,645	99,060	102,096		32,258	30,938	29,796	
(前年比、%)	(▲2.3)	(▲8.3)	(▲0.7)	(▲14.1)	(▲12.5)	(▲15.5)		(▲25.6)	(▲21.6)	(▲30.3)	
貿易収支(100万ドル)	▲190,336	▲135,798	▲137,301	▲25,666	▲32,152	▲35,644		▲10,458	▲9,530	▲9,782	
経常収支(100万ドル)	▲87,843	▲32,358	▲26,731	▲625	▲6,128	▲8,214					
外貨準備高(除く金)(100万\$)	268,500	285,032	323,825	323,825	338,107	333,345		333,345	336,654		
レポレート(%)◎	7.50	8.00	7.50	7.50	7.25	6.75	6.75	6.75	6.75	6.75	6.75
為替(ルピー/ドル)*	54.41	60.47	61.15	62.25	63.46	64.98	65.92	66.20	65.04	66.14	66.58
株価指数◎	18,836	22,386	27,957	27,957	27,781	26,155	26,118	26,155	26,657	26,146	26,118

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値、『乗用車販売台数』は、ユティリティ車、多目的車を含む。2012年度以降の『名目GDP』、『一人当たりGDP』、『実質GDP成長率』は

新(2011年度)基準且つ、市場価格ベース。

(資料)RBI、中央統計局、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

中国の主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	9,491	10,355									
人口(100万人)	1,360.7	1,367.8									
1人あたりGDP(ドル)	6,975	7,570									
実質GDP成長率(前年比、%)	(7.7)	(7.3)		(7.0)	(7.0)	(6.9)					
工業生産(前年比、%)	(9.7)	(8.2)		(5.6)	(6.3)	(5.9)		(5.7)	(5.6)	(6.2)	
固定資産投資(前年比、%)	(19.6)	(15.7)		(13.5)	(11.4)	(10.3)		(10.3)	(10.2)	(10.2)	
社会消費財小売額(前年比、%)	(13.3)	(12.0)		(10.2)	(10.2)	(10.7)		(10.9)	(11.0)	(11.2)	
都市部登録失業率(%)	4.1	4.1		4.1	4.0	4.1					
消費者物価上昇率(前年比、%)	(2.6)	(2.0)		(1.2)	(1.4)	(1.7)		(1.6)	(1.3)	(1.5)	
輸出(FOB)(億ドル)	22,090	23,423		5,131	5,543	5,951		2,054	1,924	1,965	
(前年比、%)	(7.9)	(6.1)		(4.5)	(▲2.9)	(▲6.2)		(▲3.8)	(▲7.0)	(▲7.1)	
輸入(CIF)(億ドル)	19,500	19,592		3,892	4,173	4,328		1,450	1,307	1,427	
(前年比、%)	(7.3)	(0.4)		(▲17.8)	(▲13.8)	(▲14.5)		(▲20.5)	(▲18.9)	(▲9.0)	
貿易収支(億ドル)	2,590	3,831		1,239	1,370	1,623		604	617	537	
経常収支(億ドル)	1,482	2,197		756	730	603					
外貨準備高(除く金)(億\$)	38,396	38,592		37,447	37,090	35,293		35,293			
政策金利(%)◎	6.00	5.60	4.35	5.35	4.85	4.60	4.35	4.60	4.35	4.35	4.35
3ヵ月物金利(%)◎	5.56	5.14	3.09	4.90	3.23	3.15	3.09	3.15	3.04	3.05	3.09
為替(人民元/ドル)*	6.19	6.15	6.24	6.14	6.12	6.29	6.41	6.36	6.35	6.40	6.49
株価指数(上海総合)◎	2,116.0	3,234.7	3,539.2	3,747.9	4,277.2	3,052.8	3,539.2	3,052.8	3,382.6	3,445.4	3,539.2

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値、『固定資産投資』は、年初末値、『政策金利』は「1年物貸出基準金利」。

(資料)中国国家统计局、税関総署、中国人民銀行統計、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

香港の主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	276	291									
人口(100万人)	7.2	7.3									
1人あたりGDP(ドル)	38,271	40,099									
実質GDP成長率(前年比、%)	(3.1)	(2.5)		(2.4)	(2.8)	(2.3)					
鉱工業生産指数(前年比、%)	(0.1)	(▲0.4)		(▲1.6)	(▲1.2)	(▲1.9)		(▲1.9)			
小売売上高指数(前年比、%)	(11.0)	(▲0.2)		(▲2.3)	(▲0.9)	(▲4.8)		(▲6.3)	(▲3.0)	(▲7.8)	
失業率(%)	(3.4)	(3.3)		(3.3)	(3.2)	(3.3)		(3.3)	(3.3)	(3.3)	
消費者物価指数(前年比、%)	(4.3)	(4.4)		(4.4)	(3.0)	(2.3)		(2.0)	(2.4)	(2.4)	
輸出(FOB)(億ドル)	4,590	4,737		1,078	1,140	1,219		409	412	407	
前年比、%	(3.6)	(3.2)		(2.3)	(▲2.0)	(▲4.1)		(▲4.6)	(▲3.7)	(▲3.5)	
うち、再輸出(億ドル)	4,519	4,665		1,064	1,123	1,204		404	408	402	
前年比、%	(3.8)	(3.2)		(2.4)	(▲1.7)	(▲3.9)		(▲4.5)	(▲3.5)	(▲3.2)	
輸入(CIF)(億ドル)	5,236	5,441		1,232	1,301	1,335		456	451	450	
前年比、%	(3.8)	(3.9)		(1.4)	(▲3.2)	(▲6.7)		(▲7.6)	(▲8.5)	(▲8.1)	
貿易収支(億ドル)	▲646	▲705		▲154	▲161	▲116		▲47	▲38	▲43	
経常収支(億ドル)	41	36		▲1	3	63					
外貨準備高(除く金)(億\$)	3,111	3,284		3,321	3,407	3,457		3,457	3,570		
3ヵ月物金利(%)◎	0.38	0.38	0.39	0.39	0.39	0.40	0.39	0.40	0.38	0.37	0.39
為替(香港ドル/ドル)*	7.76	7.75	7.75	7.75	7.75	7.75	7.75	7.75	7.75	7.75	7.75
株価指数◎	23,306.4	23,605.0	21,914.4	24,900.9	26,250.0	20,846.3	21,914.4	20,846.3	22,640.0	21,996.4	21,914.4

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。四半期・月次の失業率は季節調整値。輸出と再輸出の差額は地場輸出。

(資料)香港統計局、IMF統計、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

台湾の主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	513	531									
人口(100万人)	23.3	23.4	23.5								
1人あたりGDP(ドル)	21,982	22,700									
実質GDP成長率(前年比、%)	(2.2)	(3.9)		(4.0)	(0.6)	(▲0.6)					
鉱工業生産指数(前年比、%)	(0.7)	(6.4)		(5.8)	(▲1.1)	(▲4.6)		(▲5.5)	(▲6.3)	(▲4.9)	
失業率(%)	4.2	4.0		3.8	3.8	3.8		3.8	3.8	3.8	
消費者物価指数(前年比、%)	(0.8)	(1.2)	(▲0.3)	(▲0.6)	(▲0.7)	(▲0.3)	(0.3)	(0.3)	(0.3)	(0.5)	(0.1)
輸出(FOB)(億ドル)	3,054	3,137		702	722	700		225	239	221	
前年比、%	(1.4)	(2.7)		(▲4.2)	(▲9.8)	(▲13.9)		(▲14.7)	(▲11.0)	(▲16.9)	
輸入(CIF)(億ドル)	2,699	2,740		568	598	572		173	178	194	
前年比、%	(▲0.2)	(1.5)		(▲15.0)	(▲14.9)	(▲19.4)		(▲24.3)	(▲20.0)	(▲13.7)	
貿易収支(億ドル)	355	397		134	123	128		52	61	28	
経常収支(億ドル)	553	654		220	164	197					
外貨準備高(除く金)(億\$)	4,117	4,141	4,260	4,098	4,164	4,216	4,260	4,216	4,220	4,199	4,260
政策金利(%)◎	1.875	1.875	1.625	1.875	1.875	1.750	1.625	1.750	1.750	1.750	1.625
CP31-90日物金利(%)◎	0.64	0.68		0.63	0.61	0.53		0.53	0.49	0.45	
為替(台湾ドル/ドル)*	29.77	30.37	31.91	31.59	30.99	32.21	32.85	32.89	32.73	32.80	33.01
株価指数◎	8,611.5	9,307.3	8,338.1	9,586.4	9,323.0	8,181.2	8,338.1	8,181.2	8,554.3	8,320.6	8,338.1

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。四半期・月次の失業率は季節調整値。輸出入は再輸出を含む金額。

(資料)台湾中央銀行、行政院主計総処、財政部統計、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

韓国主要経済指標

	2013	2014	2015	15/1-3	4-6	7-9	10-12	15/9	10	11	12
名目GDP(10億ドル)	1,306	1,410									
人口(100万人)	50.2	50.4									
1人あたりGDP(ドル)	25,998	27,971									
実質GDP成長率(前年比、%)	(2.9)	(3.3)		(2.5)	(2.2)	(2.7)					
鉱工業生産指数(前年比、%)	(0.7)	(0.1)		(▲0.9)	(▲1.4)	(▲0.3)		(2.8)	(1.7)	(▲0.3)	
実質小売指数(前年比、%)	(0.7)	(1.6)		(1.7)	(2.9)	(3.2)		(5.5)	(8.4)	(5.5)	
失業率(%)	(3.1)	(3.5)		(3.7)	(3.8)	(3.6)		(3.5)	(3.4)	(3.4)	
消費者物価指数(前年比、%)	(1.3)	(1.3)	(0.7)	(0.6)	(0.5)	(0.7)	(1.1)	(0.6)	(0.9)	(1.0)	(1.3)
輸出(FOB)(億ドル)	5,596	5,731	5,272	1,334	1,351	1,282	1,304	434	434	444	426
前年比、%	(2.1)	(2.4)	(▲8.0)	(▲3.0)	(▲7.2)	(▲9.5)	(▲11.7)	(▲8.5)	(▲16.0)	(▲4.8)	(▲13.8)
輸入(CIF)(億ドル)	5,156	5,256	4,368	1,118	1,105	1,082	1,063	345	368	341	355
前年比、%	(▲0.8)	(1.9)	(▲16.9)	(▲15.5)	(▲15.6)	(▲18.5)	(▲17.8)	(▲21.8)	(▲16.6)	(▲17.6)	(▲19.2)
貿易収支(億ドル)	440	475	904	216	246	200	241	89	66	103	72
経常収支(億ドル)	811	844		224	279	291		108	91	94	
外貨準備高(除く金)(億\$)	3,417	3,588	3,632	3,580	3,700	3,633	3,632	3,633	3,648	3,637	3,632
政策金利◎	2.50	2.00	1.50	1.75	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
CD3ヵ月物金利(%)◎	2.66	2.14	1.66	1.78	1.60	1.55	1.66	1.55	1.55	1.74	1.66
為替(ウォン/ドル)*	1,095.0	1,052.8	1,131.0	1,099.9	1,097.4	1,169.0	1,157.5	1,184.8	1,148.2	1,152.0	1,172.2
株価指数◎	2,011.3	1,915.6	1,961.3	2,041.0	2,074.2	1,962.8	1,961.3	1,962.8	2,029.5	1,992.0	1,961.3

(注)*印:期中平均値、◎印:期末値。四半期・月次の失業率は季節調整値。

(資料)韓国中央銀行、国家統計局、産業通商資源部統計、CEICなどより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

カンボジアの主要経済指標

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
名目GDP (10億ドル)	10	10	11	13	14	15	17
人口 (100万人)	13.9	14.1	14.3	14.5	14.8	14.9	15.2
1人あたりGDP (ドル)	746	739	786	883	950	1,025	1,106
実質GDP成長率 (前年比、%)	(6.7)	(0.1)	(6.0)	(7.1)	(7.3)	(7.4)	(7.1)
消費者物価指数 (前年比、%)	(19.7)	(▲0.7)	(4.0)	(5.4)	(2.9)	(3.0)	(3.9)
経常収支 (100万ドル)	▲ 557	▲ 653	▲ 676	▲ 765	▲ 1,150	▲ 1,977	▲ 1,640
貿易収支 (100万ドル)	▲ 1,681	▲ 1,740	▲ 1,850	▲ 2,145	▲ 2,506	▲ 3,214	▲ 3,208
外貨準備高 (除く金) (100万 ^F ₪) ◎	2,292	2,851	3,255	3,450	4,267	4,516	5,626
対外債務残高 (100万ドル) ◎	3,181	3,439	3,755	4,356	5,652	6,427	NA
為替 (リエル/ドル) *	4,054	4,139	4,185	4,059	4,033	4,027	4,038

ミャンマーの主要経済指標

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
名目GDP (10億ドル)	35	38	50	56	56	57	63
人口 (100万人)	NA	NA	49.6	50.1	50.7	51.2	51.5
1人あたりGDP (ドル)	705	772	998	1,118	1,100	1,112	1,228
実質GDP成長率 (前年比、%)	(10.3)	(10.6)	(9.6)	(5.6)	(7.3)	(8.4)	(8.7)
消費者物価指数 (前年比、%)	(17.9)	(1.5)	(7.7)	(5.0)	(1.5)	(5.5)	(5.5)
経常収支 (100万ドル)	1,262	1,093	1,963	▲ 1,601	▲ 1,205	▲ 779	▲ 1,624
貿易収支 (100万ドル)	2,236	3,406	2,448	101	▲ 92	▲ 2,556	▲ 4,110
外貨準備高 (除く金) (100万 ^F ₪) ◎	3,717	5,252	5,717	7,004	6,964	NA	NA
対外債務残高 (100万ドル) ◎	7,454	7,625	8,189	8,371	8,271	7,367	NA
為替 (チャット/ドル) *	5.44	5.58	5.63	5.44	640.65	933.57	984.35

バングラデシュの主要経済指標

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
名目GDP (10億ドル)	92	102	115	124	129	154	173
人口 (100万人)	144.7	146.7	148.6	149.7	151.6	153.7	155.8
1人あたりGDP (ドル)	637	700	775	825	850	999	1,111
実質GDP成長率 (前年比、%)	(6.0)	(5.0)	(5.6)	(6.5)	(6.5)	(6.0)	(6.1)
消費者物価指数 (前年比、%)	(9.9)	(6.7)	(7.3)	(10.9)	(8.7)	(6.8)	(7.3)
経常収支 (100万ドル)	702	2,272	3,724	▲ 1,686	▲ 447	2,358	1,547
貿易収支 (100万ドル)	▲ 7,518	▲ 7,051	▲ 7,482	▲ 12,654	▲ 11,711	▲ 11,120	▲ 10,814
外貨準備高 (除く金) (100万 ^F ₪) ◎	5,689	10,219	10,564	8,510	12,031	17,564	21,785
対外債務残高 (100万ドル) ◎	22,952	24,619	25,752	27,326	26,188	27,804	NA
為替 (タカ/ドル) *	68.60	69.04	69.65	74.15	81.86	78.10	77.64

パキスタンの主要経済指標

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
名目GDP (10億ドル)	147	153	167	204	207	212	236
人口 (100万人)	166.4	169.9	173.5	177.1	180.7	184.4	188.0
1人あたりGDP (ドル)	908	951	1,006	1,195	1,188	1,194	1,319
実質GDP成長率 (前年比、%)	(5.0)	(0.4)	(2.6)	(3.6)	(3.8)	(3.7)	(4.0)
消費者物価指数 (前年比、%)	(12.0)	(17.0)	(10.1)	(13.7)	(11.0)	(7.4)	(8.6)
経常収支 (100万ドル)	▲ 13,874	▲ 9,261	▲ 3,946	214	▲ 4,658	▲ 2,496	▲ 3,130
貿易収支 (100万ドル)	▲ 18,046	▲ 16,149	▲ 14,908	▲ 15,125	▲ 20,162	▲ 19,418	▲ 20,248
外貨準備高 (除く金) (100万 ^F ₪) ◎	7,194	11,318	14,346	14,528	10,242	5,156	11,807
対外債務残高 (100万ドル) ◎	49,524	56,340	61,960	63,989	60,938	56,461	NA
為替 (パキスタンルピー/ドル) *	70.41	81.71	85.19	86.34	93.40	101.63	101.10

(注) *印：期中平均値、◎印：期末値。貿易収支は国際収支ベース。

ミャンマーの名目GDP、実質GDP成長率、一人あたりGDP、対外債務残高は年度(4月～翌年3月)ベース。

為替相場は2011年までSDRに対する固定相場制の下での公定レート、2012年4月に管理フロート制へ移行。

なお、名目GDPおよび一人あたりGDPは、チャット建て公表値をIMF経済見通し上の市場レートでドル換算したもの。

バングラデシュとパキスタンの名目GDP、1人あたりGDP、実質GDP成長率、経常収支、貿易収支は年度(前年7月～6月)ベース。

(資料) ADB、IMFより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

■ アジア主要国・地域の主要経済指標比較

1. 名目GDP (億ドル)

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2010	7,559	2,550	1,996	2,364	3,409	1,160	15,910	60,397	2,287	4,483	10,945
2011	8,929	2,980	2,241	2,754	3,706	1,355	17,125	74,925	2,485	4,870	12,025
2012	9,181	3,144	2,501	2,899	3,975	1,558	17,025	84,616	2,626	4,970	12,228
2013	9,133	3,233	2,719	3,022	4,202	1,712	17,333	94,907	2,757	5,132	13,056
2014	8,885	3,381	2,848	3,079	4,048	1,862	19,140	103,548	2,909	5,312	14,104
2015						1,934					

2. 人口 (100万人)

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2010	237.6	28.6	94.0	5.1	63.9	86.9	1,186.0	1,340.9	7.0	23.1	49.4
2011	242.0	29.1	94.8	5.2	64.1	87.9	1,220.0	1,347.4	7.1	23.2	49.8
2012	245.4	29.5	96.5	5.3	64.5	88.8	1,235.0	1,354.0	7.2	23.3	50.0
2013	248.8	29.9	98.2	5.4	64.8	89.8	1,251.0	1,360.7	7.2	23.3	50.2
2014	252.2	30.6	99.9	5.5	65.1	90.7	1,267.0	1,367.8	7.3	23.4	50.4
2015	255.5	31.0	101.6	5.5	65.7					23.5	

3. 1人当たりGDP (ドル)

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2010	3,181	8,920	2,123	46,569	5,337	1,334	1,341	4,504	32,489	19,374	22,151
2011	3,690	10,252	2,364	53,122	5,784	1,543	1,404	5,561	35,042	21,002	24,156
2012	3,741	10,653	2,591	54,578	6,166	1,755	1,379	6,249	36,647	21,359	24,454
2013	3,670	10,809	2,769	55,980	6,485	1,908	1,386	6,975	38,271	21,982	25,998
2014	3,523	11,050	2,851	56,287	6,216	2,052	1,511	7,570	40,099	22,700	27,971
2015											

4. 実質GDP成長率 (前年比、%)

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2010	6.2	7.4	7.6	15.2	7.5	6.4	8.9	10.6	6.8	10.6	6.5
2011	6.2	5.3	3.7	6.2	0.8	6.2	6.7	9.5	4.8	3.8	3.7
2012	6.0	5.5	6.7	3.4	7.3	5.3	5.1	7.7	1.7	2.1	2.3
2013	5.6	4.7	7.1	4.4	2.8	5.4	6.9	7.7	3.1	2.2	2.9
2014	5.0	6.0	6.1	2.9	0.9	6.0	7.3	7.3	2.5	3.9	3.3
2015				2.1		6.7					
2014/03	5.1	6.3	5.6	4.6	▲ 0.4	5.1	6.7	7.3	2.7	3.7	3.9
2014/06	5.0	6.5	6.7	2.3	0.9	5.3	6.7	7.4	2.0	4.1	3.4
2014/09	4.9	5.6	5.5	2.8	1.0	6.1	8.4	7.2	2.9	4.3	3.3
2014/12	5.0	5.7	6.6	2.1	2.1	7.0	6.6	7.2	2.4	3.6	2.7
2015/03	4.7	5.6	5.0	2.6	3.0	6.1	7.5	7.0	2.4	4.0	2.5
2015/06	4.7	4.9	5.8	2.0	2.8	6.5	7.0	7.0	2.8	0.6	2.2
2015/09	4.7	4.7	6.0	1.8	2.9	6.8	7.4	6.9	2.3	▲ 0.6	2.7
2015/12				2.0		7.0					

5. 消費者物価上昇率 (前年比、%)

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2010	5.1	1.7	3.8	2.8	3.3	9.2	10.5	3.3	2.3	1.0	2.9
2011	5.3	3.2	4.7	5.2	3.8	18.7	8.6	5.4	5.3	1.4	4.0
2012	4.0	1.7	3.2	4.6	3.0	9.1	9.9	2.6	4.1	1.9	2.2
2013	6.4	2.1	2.9	2.4	2.2	6.6	9.4	2.6	4.3	0.8	1.3
2014	6.4	3.1	4.2	1.0	1.9	4.1	6.0	2.0	4.4	1.2	1.3
2015	6.4		1.4		▲ 0.9	0.6				▲ 0.3	0.7

(注) インドは年度 (4月～翌年3月) ベース。インドの2012年度以降の実質GDP成長率は新基準且つ、市場価格ベース。

2011年度以前は、旧 (2004年度) 基準且つ、要素価格ベース。

(資料) 各国統計、IMF、CEICより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

6. 外貨準備高（除く金、億ドル）

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2010	929	1,049	554	2,255	1,675	125	2,753	28,661	2,686	3,768	2,915
2011	1,065	1,318	673	2,375	1,674	135	2,713	32,028	2,853	3,805	3,043
2012	1,088	1,378	735	2,591	1,733	256	2,706	33,311	3,173	3,979	3,232
2013	964	1,334	757	2,729	1,613	259	2,765	38,396	3,111	4,117	3,417
2014	1,088	1,146	721	2,566	1,513	342	3,035	38,592	3,284	4,141	3,588
2015										4,260	3,632
15/1	1,111	1,092	727	2,513	1,491	347	3,106	38,290	3,247	4,110	3,574
2	1,125	1,090	732	2,505	1,509	373	3,193	38,169	3,324	4,129	3,575
3	1,086	1,037	730	2,482	1,505	369	3,238	37,447	3,321	4,098	3,579
4	1,079	1,045	734	2,517	1,552	365	3,337	37,635	3,431	4,132	3,651
5	1,078	1,050	729	2,500	1,526	372	3,343	37,263	3,448	4,139	3,667
6	1,051	1,041	733	2,531	1,545	373	3,381	37,090	3,407	4,164	3,700
7	1,048	952	735	2,499	1,515	369	3,363	36,661	3,398	4,171	3,660
8	1,025	933	731	2,502	1,502	329	3,346	35,726	3,344	4,201	3,631
9	989	920	735	2,514	1,500	307	3,333	35,293	3,457	4,216	3,633
10	978	927	739	2,496	1,526		3,367		3,570	4,220	3,648
11	976	932	735		1,504					4,199	3,637
12										4,260	3,632

7. 対外債務残高（億ドル、年末値）

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2010	2,024	1,349	736	0	1,006	449	3,060	5,489	8,797	1,016	3,559
2011	2,254	1,758	756	0	1,043	531	3,452	6,950	9,827	1,225	4,000
2012	2,524	1,951	799	0	1,307	591	3,940	7,370	10,297	1,308	4,089
2013	2,661	2,212	785	0	1,419	655	4,269	8,632	11,603	1,701	4,235
2014	2,926	2,285	777	0	1,401	719	4,586	8,955	13,011	1,779	4,244
2015											

8. 対ドル為替相場（期中平均）

	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム	インド	中国	香港	台湾	韓国
2010	9,084	3,219	45.1	1.363	31.7	19,138	45.7	6.77	7.77	31.6	1,156
2011	8,772	3,059	43.3	1.257	30.5	20,663	46.7	6.44	7.78	29.5	1,108
2012	9,388	3,089	42.2	1.249	31.1	20,873	53.5	6.31	7.76	29.6	1,127
2013	10,438	3,150	42.5	1.251	30.7	21,030	58.6	6.19	7.76	29.8	1,095
2014	11,881	3,273	44.4	1.267	32.5	21,199	61.0	6.15	7.75	30.4	1,053
2015	13,398	3,907	45.5	1.375	34.3	21,923	64.2	6.24	7.75	31.9	1,131

（資料）各国統計、IMF、世界銀行、bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：経済調査室 土屋 祐真 (yuuma_tsuchiya@mufg.jp)
 シンガポール駐在 中村 逸人 (hayato_nakamura@sg.mufg.jp)
 剣持 未来子 (kemmochi@sg.mufg.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページ <http://www.bk.mufg.jp> でもご覧いただけます。